

## 情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 難治性てんかんに対する迷走神経刺激療法の効果の検討

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 山本貴道

[研究責任者] 山添知宏 (脳神経外科・医師)

[研究の概要]

■ 目的・方法 (研究期間も含む)

難治性てんかんの迷走神経刺激療法は国内で普及して約10年経過しますが、近年はデバイスの進歩もあり、発作時頻拍に対応する自動刺激が導入され、更なる発作減少効果が期待されます。そのため、現在の迷走神経刺激療法の難治性てんかんに対する治療効果についてカルテ情報をもとに検証します。

研究期間：2023年11月27日～2024年3月

■ 対象となる患者さん

2023年1月から2023年12月まで当院脳神経外科外来で迷走神経刺激療法を継続している方。

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：病歴、年齢、性別、てんかん発症年齢、脳波・画像 (CT、MRI、PET等) 所見、内服薬、てんかん診断、治療内容、迷走神経刺激療法の刺激パラメータ・デバイスの種類、発作頻度の変遷、副作用、迷走神経刺激療法のフォローアップ期間

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

山添知宏、脳神経外科

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971